

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 横浜らんぼ		
○保護者評価実施期間	2025年10月20日		～ 2025年11月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・障害特性に配慮した、お子さま一人ひとりに合わせてオーダーメイドの過ごし方を提供していること。室内での個別活動では自立課題や創作、ピアノなどを設定し、集団活動では公園や公共機関・場所を利用した喫茶などの余暇活動を設定している。それらを組み合わせて1日のスケジュールを立て、支援を行っている。	障害特性及びそのお子様の学習スタイル、発達年齢に応じて支援計画を保護者の皆様と相談し立てている。建物は2階建ての一軒家で、スペースに限りがあるが、一人ひとりに机や休憩スペース、スケジュールを提示(お子さまそれぞれに分かる、取り扱える形態)をしている。「できる」仕組みを構造化しながら、それぞれが自立して活動できるような環境設定をしている。	「できる」仕組みや自立して過ごせる環境設定を引き続き提供していく中で、外出先での自立した活動(ヘルパーさんや自力通所など)を経験する機会を設定していきたい。
2	職員が障害特性についての専門性をもち、TEACCHプログラムや応用行動分析などを勉強している。職員のみではなく、パートスタッフの研修も充実している。打ち合わせや反省会、ケーススタディにおいてパートスタッフとの情報共有やコミュニケーションが円滑である。またケース会議や学校訪問などを積極的に行っており、関係機関や学校との連携を行う機会が多く、支援の共通理解に努めている。	TEACCHや応用行動分析を定期的に勉強している。一人ひとりのもっている力を活かして、それぞれが自立した過ごしができるよう、スケジュールや指示書などを作成して支援を行っている。また事業所での経験をご家庭でも出来るように、保護者と仕組みや手立てを共有している。学校での過ごしを担任の先生と共有し、統一した支援を行っている。	事業所で行っている取り組みだけでなく、ご家庭においても保護者が出来るよう、仕組みや手立てを助言をしたり、相談に応じていきたい。必要に応じて家庭訪問を行って、生活全体を考えて支援をしていきたい。また学校訪問やケース会議にて、学校の目標や様子を共有しながら、事業所での支援を行っていきたい。
3	会報で法人の理念や、支援方針、障害についてのコラムを発信している。また、今年度においては、講演会を開催し、保護者や関係機関(学校の先生や計画相談員)に参加頂いた。	保護者との面談ではご家庭での取り組みについて共有し、助言をしている。保護者の家庭内での支援について個別対応をしている。	学校ごとや年齢ごとのグループでの保護者勉強会などを企画したり、講演会など支援についての発信をする機会を多くしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年度始めに緊急時のマニュアル等保護者へ書面や会報などで周知しているのみである。「発達ナビ」等のインターネットサービスを利用した情報公開をするなど発信を積極的に行ってはどうか。	インターネットなどに疎く、情報公開のための知識が少ない。	情報公開サービスについて学び、発信のあり方などブラッシュアップしていく。
2	会報では日々の活動報告やコラム(障害についての)、事業所からのお知らせなどであるが、避難訓練(今年度は会報誌で報告)や苦情対応などについても発信してはどうか。	保護者がお迎えにいらして下さることおあり、話機会が多く、個別での発信は多いが、全体でのお知らせは少ない。	情報公開サービスについて学び、発信のあり方などブラッシュアップしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 横浜らんぼ

公表日 2026年1月16日

利用児童数 23人

回収数 19名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	5			屋外での活動も組み合わせられているので、十分だと感じています。	一人ひとりのスペースはソファやついたてなどの配置を工夫し、確保しています。またお子さまが全員同じ空間にいることのないよう、活動プログラムを捻出していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			1	ほぼマンツーマンの支援のため安心してできる。	ガイドラインよりも多くのスタッフを配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	4			本人が自分の力で取り組めるよう机上課題のセッティングも工夫して頂いていると感じています。	バリアフリー化はしてないため、歩行が不安定なお子さまにはスタッフが付き添い支援をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19				分かりやすく活動を提示頂いています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	3			将来を見据え、その子その子に必要な課題やチャレンジを用意して頂いています。	面談で保護者様と目標や支援内容についてのご意見やご相談を支援にいかす努力をしています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2				家族支援や移行支援においても、具体的な取り組みをしています。お子さまの自力通所のスタイルは様々ですが、バスや地下鉄等の公共機関を使っての支援、ヘルパーさんとの移動など支援をしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	3			個々に合わせてとても細やかでわかりやすい支援してもらっています。視覚的にわかりやすく提示してくれています。卒後も視野に入れた支援を設定して下さり助かっています。	日々の打ち合わせだけでなく、カンファレンスや研修において専門性を高め、その場の過ごしにならないよう、目標を意識した日々の支援に努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2			定着した流れは崩さず、活動内容や行き先を工夫して頂いています。	工夫するにおいても、利用者一人ひとりの特性や学習スタイルが理解していないとできないことですので、研修を積み、支援していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	6	5	短時間利用のため不要だと思う。人が多い場所が苦手なので、あまり求めていません。必要ないと思っています。必要と感じていない為、問題ありません。放課後等デイサービスの活動時間の中ではこの内容の活動を希望していません。特に望んでいません。今のままで良いです。外食など活動の中で自然に地域とふれあい、交流できていると思います。	
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1		1	研修会等してほしいが、コロナ等もあり仕方ない面もあり、次回の講演会を楽しみにしています。	講演会だけでなく、保護者向けの勉強会などを企画していきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	1			コンディションに波があるので、その日の活動時の様子を教えて頂けるのは助かっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1	何かあればその都度すぐに助言がある。いつもの確かなアドバイスを頂いています。そして気づかせて頂くことも沢山です。ありがとうございます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17		1	1		

護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	1			デイサービスにそこまでの支援を求めるべきかが、わからない所があります。必要と感じている方がアクセス出来る場所を情報提供して頂けていると思います。あっても良いのかもしれませんが重要とは思っていません。必要と感じていない為、問題ありません。他で補います。らんぼでは設けられていないが、今まで特に必要は感じていませんでした。現状では、負担が大きと思う支援内容になることが考えられます。お迎え時などに会話している。充分です。勉強会を開いてくれています。	特別、法人で保護者会を設けることはしませんが、保護者の意向があればサポートしていきたいと思えます。ご要望がありましたら、遠慮なくお申し出ください。また、きょうだい児さんのご相談も積極的に受けております。面談以外でも対応しておりますので、ご相談頂きたいと思えます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	19					お迎え時の引き渡し方法が変わるので、その日の伝達ができるかなと思っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19					毎月の通信や、お迎え時に丁寧に説明して下さっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	18	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		1	1		避難訓練の様子も写真で載せて頂いたので様子が分かりました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	18	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	19					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					適切な支援のお陰で安心して通所できています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	3				楽しく遊ぶ所というより、良い子にしている所として認識していそう。いつも楽しみにしている。10年間一度も嫌がったことがない程、楽しみにしていると思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19					今後も今と同じく手厚い支援を継続して頂けたらと思います。子どもの変化などもすぐに察してくれるため、職員皆さんに安心してお任せできています。親子共々、支援して頂き本当にありがたく感じています。大変満足しています。いつもありがとうございます。親子ともにお世話になっています。本当にありがとうございます。私たち親子にとって常に寄り添い支えて下さる。なくてはならない場所です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026 年 1 月 16 日				
横浜らんぼ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	建物は狭いが、その日の活動を分けるなど工夫している。構造化しており、ひとり一人が過ごしやすい空間がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	多いくらい。マンツーマン対応。	多いがゆえに、職員の動きで自立度を下げたしまう場合がある。その日の動きや利用者の目標について確認、共有をしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	お子さんが安心して過ごせるように何をすればよいか明確、個々の特性に合わせた環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員やパートスタッフが意見を交わせるように時間を設けて日々取り組んでいる。法人の全体会議や各事業の会議、パートスタッフの研修などそれぞれで機会を設定している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	第三者委員会はあるが、なかなか時間が取れていない。	第三者委員会の集まりを年間で定める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人内での研修は職員及びパートスタッフ共に定期的に行っている。こども青年局が主催している研修に参加し、勉強している。	今よりも外部の研修にも参加できると良い。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	保護者と関係機関で支援目標を確認し、作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	お子さま本人が選択できるような場面を設定している。日々、打ち合わせを入念に行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	自己選択、自己決定できる仕組みを入れ、その日の活動内に設定している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	保護者からの了承のもと行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	4月から通う事業所の職員の見学を行き入れ、引継ぎを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	北部療育センターのワーカーやセンター長や基幹相談の相談員と連携し、助言を頂いている。また、発達クリニックの医師や心理の先生に相談、助言を頂いている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	お子さんによっては交流によって、不安や混乱する場面が生じる。支援計画において支援の中で優先順位が低い。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者とは日々の中で、メールや電話でやり取りをし情報を共有している。また必要に応じて保護者と面談をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	ペアレントトレーニングはしていないが、常に相談の時間を設け、情報提供に努めている。	今年度はペアレントトレーニングの外部研修を受講したが、具体的な支援に活かせていない。引き続き研鑽を積む。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	保護者からの要望はなく、きょうだいについては個別に対応している。お迎え時に保護者同士の交流がある。	保護者会までとはいかないが、こちらで茶話会的な機会を設定してもいいのでは…と検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	保護者からの苦情はあまりないが、あった際にはその日のうちに対応、対策を講じている。※近隣住民からの苦情があり、法人としての対策を講じた。	苦情対応についても情報発信を積極的にやっていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月の通信を発行している。今期、HPの作成を行った（2月中旬よりアップ予定）。	ホームページにて、評価表と支援計画を公表する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	土日祝が営業日でないため、地域の行事に参加する機会がないが、自治会の賛助会員になっている。お祭りのチラシに法人の紹介を掲載した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年に、火災・地震など想定を変えての避難訓練を行っている。保護者にもお子さんの様子を伝えたり、情報提供している。	避難訓練の他、防犯訓練など実施していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	全員で共有し、迅速な対応や対策をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	職員、パートスタッフ共に研修を定期的に行っている。職員が相談しやすい環境を法人全体で取り組んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	外出時や本人及び周りの人などへ危険がある時は、やむを得ず身体的な対応をとることがある。その日のうちに保護者には伝え、今後の対応策なども含め説明している。		